



～～～令和8年度に向けて、理念から実践へ“trial and error”～～～

校 訓
「伸びやかに たくましく」

学 校 教 育 目 標
Believe in yourself ～協働・チャレンジ～「輝きながら、夢を持って歩む人を育てる」



令和7年度 重 点 教 育 目 標
対話を通してつながりがある生きた〔活きた〕教育活動の推進
（実際の生活につながる教育活動）
〈一人一人のウェルビーイングのために、本校における「目指す3つの姿」の実現を図る〉

グランドデザインより

【学校が目指す姿】

- 1 地域とともに生徒の社会性（主体性、協働性、道徳性）を育む学校
- 2 生徒の人権を尊重し、きめ細かく丁寧な教育を行い、一人一人の能力を確かに伸ばす学校
- 3 生徒が明るく元気に学ぶ活力ある学校
- 4 地域の特別支援教育の拠点となる学校

【生徒が目指す姿：5つの力（意欲）】

- 1 日常生活に必要な活動をする
- 2 健康で過ごす
- 3 自分で考え、相談・決定・解決する
- 4 自由に時間を楽しむ
- 5 人々とよりよい関係を築きながら過ごす
～主体的、対話的で深い学び～
生活との結びつき〔般化〕

【教職員が目指す姿：専門性、人権尊重、安心・安全】

- 1 主体的、対話的に学び続ける
- 2 生徒の人権を尊重し、生活年齢や発達段階に応じた呼称、言葉遣い等に留意し、卒業後の生活につながる人間関係を築く
- 3 生徒の心情に寄り添い、卒業後の自立（自律）と社会参加を踏まえた丁寧かつ具体的な指導をする
- 4 対話を通じた良好なコミュニケーションに基づく連携・協働を図る

重 点 取 組 事 項

生徒一人一人の可能性を最大限伸長する
○生徒（学習者）主体の授業実践
○専門性の向上（専門性の高い教職員）
○地域資源の活用とセンター的機能の充実

経営の実践事項

- 1 心理的安全性（話しやすさ、助け合い、挑戦、新規歓迎）
- 2 新しい教育課程の実施 及び 授業の改善と充実
- 3 地域とのつながり・連携のもと地域の物的・人的資源の有効活用による生徒の学びの充実（生きた授業）
- 4 教育活動等の適切な情報発信
- 5 センター的機能の発揮
- 6 学校運営協議会（対話、協働）の機能充実と地域とともにある学校づくり
- 7 教職員の同僚性を発揮し、協力・協働による業務の推進及び業務の平準化・効率化、会議の効率化等
- 8 日課変更に伴う時間の有効活用（授業準備、研修、評価等）
- 9 報告・連絡・相談・確認の徹底（円滑な業務推進、事故防止）

教育（指導）の実践事項

- 1 「なぜ、何のために…」がわかり「わかった、またやりたい、もっとやりたい…」と思う授業の充実（日常生活とのつながり）
- 2 地域の人々と積極的に関わり共に活動することを通して、働く意欲や学ぶ意欲を培い、自己肯定感や自己有用感を育む授業の実践（作業学習等）
- 3 生きやすさ、学びやすさのために主体的に取り組む自立活動の充実（カウンセリング機能の充実及び技術の向上）
- 4 生徒一人一人の障がいの状態や発達段階に応じた ICT の積極的活用による個別最適な学び（自学自習）と協働的な学び（統合）の充実
- 5 幼、小、中、高との交流及び共同学習の推進（日常的にできることから）
- 6 改定「通知表」による学習評価を通して、生徒の意欲を高める指導の改善、充実
- 7 適切な情報の取得と活用のスキルの向上（教育活動全般を通じた情報活用能力の育成）
- 8 寄宿舎における生活指導、余暇活動の充実（QOLの向上）

安心・安全な学校（信頼される学校）

- 1 生徒の人権尊重（体罰、不適切な指導の皆無）
- 2 災害、感染症等、危機管理体制の整備・充実
- 3 発達支持的生徒指導の充実（いじめ、不登校の未然防止）
- 4 教育公務員としての自覚と責任（服務規律の遵守）
- 5 個人情報保護の徹底 及び 適切な情報管理
- 6 施設、設備の計画的かつ適切な維持、管理

【基盤】教職員一人一人の主体的な学び = 積極的な研修

○それぞれの職種に応じた「専門性」の向上。
教師⇒授業力（教員育成指標） 寄宿舎指導員⇒生活指導力
事務職員⇒適正な計画・調整力
○自らの学びと合わせて、各種研修会等への積極的参加

○他校種（小・中・高）の授業等からの学び
授業参観、特別支援学校も含め学校視察研修等
○指導と評価の一体化
生徒への評価を通して授業の質の向上（授業評価、授業改善）